

病院の概要

- 病床数 329床
- 医師数（研修医を除く） 58名（うち指導医数 28名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 帝京大学・香川大学・群馬大学・弘前大学
- 診療科 循環器内科 神経内科 腎臓内科 呼吸器内科
消化器内科 糖尿病内科 漢方内科 小児科 外科
呼吸器外科 乳腺外科 内視鏡外科 脳神経外科
皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科
整形外科 麻酔科 リハビリテーション科 救急科
- 1日平均外来患者数 673名
- 1日平均入院患者数 288名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院



研修プログラムの特色

〈理念〉

臨床医に求められる高い倫理性と思いやりの心を養い、“心温かい医師”を育てることを理念としています。

1. 救急医療から地域医療までの幅広い研修を通じて、「疾患ではなく患者さんを診る」という全人的な患者の評価ができる医師に育てます。
2. 質量とも揃った症例が豊富にあり、個々の症例を丹念に診断治療していく医療体制があります。
3. 研修医目線に立った指導を心がけることで、充実した臨床研修の場を提供します。
4. 研修医個人に合わせたオーダーメイドのプログラムで、意欲を持って取り組みます。
5. 全国に先駆けて医療秘書を導入、研修に集中できる環境が整っています。

〈基本目標〉

1. 医療全般において基本的診察能力（知識、技術、態度、判断力）を取得する。
2. プライマリ・ケア診療の基本を習得する。
3. 救急患者への対処を習得する。
4. 患者・家族へのインフォームド・コンセントを尊重した医療を習得する。
5. 末期患者への対処を習得する。
6. 生涯にわたる自己学習の習慣を身につける。



プログラム 例 済生会栗橋病院臨床研修プログラム（募集定員3人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	オリエンテーション	内科						外科			救急	麻酔科
2年目▶	小児科	精神科	産婦人科	地域医療・保健			選択					

※内科は、循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・腎臓内科・糖尿病内科・神経内科を6か月、外科は、外科・脳神経外科・泌尿器科を3か月

研修医の処遇

- 給与▶ 1年次：約30万円／月 2年次：約36.7万円／月
賞与（1年次：約60万円／年・2年次：73.5万円／年）
- 諸手当▶ 日当直手当、通勤手当、時間外手当など
- 保険▶ 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶ 9時～17時30分
- 当直▶ あり（3回程度／月）
- 休暇▶ 2日／週、有給休暇（1年次：10日 2年次：13日）
- 宿舎▶ あり 住宅手当：借家、持ち家ともに2万円（住民票上世帯主のみ）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・久喜すずのき病院
- ・山王クリニック
- ・幸手保健所
- ・わしみや訪問看護ステーション
- ・済生会岩泉病院

当院のキーワード

当院の特徴

当院は地域中核病院であるため、どの科にも救急医療を中心とした幅広い症例が集まってきます。そのような地域のニーズに応えるべく、人材を救急部門に集約させ、HCU16床がある地域救急センターを開設しています。この取り組みにより、救急車受入困難事例を大幅に減少させ、安心で安全な地域完結医療の構築を目指しています。

また、東京女子医科大学の関連病院でもあるので、スタッフの医療レベルが高く、新しい医師も定期的に入ってくるので、雰囲気停滞することがありません。医局はオープンな雰囲気、他科の先生と気軽にディスカッションすることが可能です。現在のシステムでは、それぞれの科の研修が短い期間で終わってしまいますが、当院は所属科だけでなく、様々な科の先生から指導が受けられ、多くの疾患を経験できます。

そして、看護師をはじめメディカルスタッフとのチームワークも良いので、実体験を通じてチーム医療が学べます。



研修責任者から

臨床研修の特徴として、実践を重視していることが挙げられます。当院は急性期病院として誕生し、埼玉県北東部の医療を担う中核病院ですので、救急車の搬入も多く、処置や手技を豊富に経験できます。救急の現場で気管挿管ができるかどうかというのは初期研修の成果を図る物差しの一つですが、当院の研修医はほとんど全員がクリアしています。



臨床研修管理委員会委員長
杉浦 秀和

大学病院は大学病院ならではの症例に恵まれますが、一方で研修医が多く、初期研修1年目では大きな仕事ができにくい状況です。当院では研修医本人にやる気があり、きちんと準備できていれば中心静脈カテーテル、気胸ドレーン、気管支鏡などの高度な手技も経験することができます。

先輩研修医から

私がいる栗橋病院は、研修医が「やりたい!」とお願ひしたことが実現できる場所だと思います。最近では、福祉相談課での研修が実現しました。施設の種類、入所基準などのレクチャーを受けたり、ご家族との面談に同席したりして、退院調整の仕方を学びました。同僚は内科ローテート中ですが、救急対応を学ぶために月に数回、日中に救急科の先生についています。手技に関しても、CVカテーテルや気管支鏡などを経験できます。オンオフがはっきりしている点も、おすすめです。私の場合は土日はお休みを頂いて、院外のレクチャーに参加したり、家族と過ごしたりして充実しています。一年に一度、業務時間内で学会参加できるのも魅力の一つです。その分、症例が足りなくなるのでは心配されるかもしれませんが、地域の中核病院ですので、common diseaseから希少な疾患まで、大学からの先生がびっくりなさるくらい多様な患者さんを受け持つことができます。ぜひ一度見学にいらしてみてください!



研修医1年目
南 朝香

女性医師支援コーナー

当院女性医師の声～当院で働くメリット～

①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。

「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています。」

②院内保育所や、小児科病棟の病児保育が利用できます。

「当院には、院内保育所があり、病気の際は小児科病棟で職員の子どもを預かってくれるので、安心して働けます。」

③転勤がないため、同じ患者を長期にわたって継続して診ることができます。

「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思います。今は、中断されずに担当できることが嬉しいです。」

連絡先

済生会栗橋病院

人事課 横井 博

〒349-1105 久喜市小右衛門7 1 4-6

TEL 0480-52-3611(代表) FAX 0480-53-0954

E-mail saikuri@saikuri.org

URL http://www.saikuri.org

アクセス 東武日光線南栗橋駅から徒歩5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っています。

まずはメールで、お気軽にお問い合わせください。